



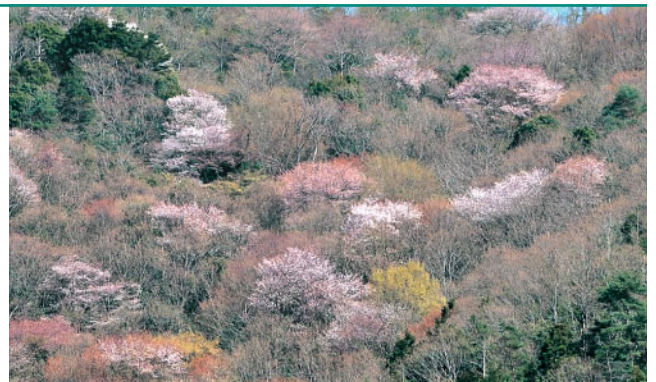
(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

田舎暮らし、その日暮らし

最終回 「なーんにもないんです」という贅沢

月江 成人：ホルティカルチャリスト (株)プランタス代表
4年前に北播磨の小さな農村に移住。築100年以上の古民家を改修しながら、ゼロからの庭&畑作りに取り組む。

私の移り住んだ集落は、わずか60戸ほどの小さなむらだが、ここには「景観むらづくり協定」なるものがある。「なーんにもないんです」の言葉で始まる協定書には、代々にわたって受け継がれてきた「日常のなにげない里の風景」をこれからも変えることなく次世代に継承するための、むらびとの総意がまとめられている。そこには趣旨のみならず、建物の高さや色、形など、具体的な項目にまで言及されている。自分の土地だからといって無秩序に開発が許されれば、当然景色に統一感が無くなり景観は乱れてくる。多くの地方都市が大都市に倣えとどんどん開発に走った結果、地域の個性が消えどこにいても同じようなまち並みができた。逆に、今、景観が観光資源になって人を引き寄せているのは、その流れに乗らずかたくなに伝統を守り続けた地域だ。



春になるとヤマザクラが自然林をピンクに染める

た。寒中たいへんではあったが、このような伝統的な行事に参加できたという充実感が沸いてきた。祭りの後にはむらの人々に労をねぎらわれ、みんなの少しずつの力で村の伝統や美観が守られているのだと、納得した。

引越してきた時には、「ようこんな何にも無いところにきちゃったね・・・」と会う人会う人に言われたが、おいしい米あり、野菜あり、そして温かい人の心あり。こんな贅沢はなかなかできないのではないかと思う。澄んだ空気の中に、のどかな田園風景が続くこの「なーんにもない」景観がいつまでも続くように、地域の方々が大切にしてきたものに自信と誇りをもってこれからも守って欲しいと願う。



後世に受け継いでいきたい日本の農村風景

さて、田舎は付き合いがたいへんだとよく言われる。実際には、むらの中はみんな大きな家族のようなもので、冠婚葬祭に加えさまざまな年中行事があって当番に当たればその準備に追われる。それでも、みんな外に仕事をもっているの昔に比べればかなり簡素化されている。移住を決めたときはこちらも相当の覚悟をしていたが、煩わしいという印象はそれほどなく、逆にこれらのむら行事を通して集落の人たちとふれあうことができ、心地よい付き合いだ。

つい先日、百手祭りという100年以上続く伝統的な祭りの準備で、朝4時半から団子作りに駆り出され



竹で弓と的をつくり
五穀豊穰を祈る
(写真提供:今中孝介氏)



集落に伝わる百手祭りの神事の様子

2012年 春のオープンガーデン情報

4月から6月にかけて兵庫県下で開催されるオープンガーデンの日程をご案内します。
 詳細は各主催団体にお問い合わせ下さい。

名称	地域	日程	問い合わせ先
1 花ハート神戸 オープンガーデン '12	神戸市	4月20日(金)～22日(日) 5月18日(金)～20日(日) 10時～16時 5月25日(金)～27日(日)	花ハート神戸オープンガーデン'12実行委員会 ☎ 078-351-6756
2 芦屋市オープンガーデン2012	芦屋市	4月22日(日)～4月29日(日) 10時～16時	芦屋市公園緑地課 ☎ 0797-38-2065
3 宝塚オープンガーデンフェスタ 2012	宝塚市	4月20日(金)～25日(水) 10時～16時	あいあいパーク オープンガーデン係 ☎ 0797-89-5933
4 宝塚オープンガーデン	宝塚市	4月20日(金)～25日(水) 10時～17時 ※期間外にお越しの際はご連絡下さい。	宝塚オープンガーデンの会 遠藤☎0797-87-0761
5 三田オープンガーデン	三田市 神戸市北区 西宮市 山口町	三田市 5月19日(土)、20日(日) 神戸市北区・西宮市山口町 5月26日(土)、27日(日)	三田花と緑のネットワーク 黒木☎090-5067-9620
6 オープンガーデン伊丹	伊丹市	4月14日(土)～5月20日(日)	大池橋ミニバラ公園グループ 三上☎090-3629-1827
7 第9回 さわやかオープンガーデン	猪名川町	5月18日(金)、20日(日)、22日(火) 10時～12時 13時～17時 雨天決行	NPO法人 さわやか緑花クラブ ☎ 072-766-1554
8 第9回 川西オープンガーデン	川西市	通年で行います。詳細は左記へ。	川西市緑化協会 ☎ 072-759-0805
9 第5回 上西二見オープンガーデン	明石市	4月21日(土)、22日(日)、23日(月) 10時～16時	明石市立上西厚生館 ☎ 078-942-2015
10 多可オープンガーデン2012	多可町	4月29日(日)～5月27日(日) お庭ごとに公開日設定あり。	多可町観光交流協会 ☎ 0795-32-2388
11 中播磨オープンガーデン	姫路市 神崎郡	4月20日(金)～22日(日) 10時～16時 5月18日(金)～20日(日)	中播磨オープンガーデン事務本部 ☎ 0790-22-1784
12 まちなみガーデンAIOI	相生市	5月18日(金)～5月21日(月) 10時～16時	相生市まちづくり推進室 ☎ 0791-23-7130
13 オープンガーデンinたつの	たつの市 新宮町	4月15日(日)～4月30日(月・祝) 10時～16時	たつの市役所町並み対策課 ☎ 0791-64-3167
14 あさごオープンガーデン	朝来市 (旧朝来町内)	6月8日(金)～6月11日(月) 9時～17時 8、9日は見学バスツアーあり(要予約)	朝来公民館 ☎ 079-677-1165
15 たんばオープンガーデン	丹波市 篠山市	4月22日(日)、23日(月) 6月3日(日)、4日(月) 10時～16時	丹波の森花くらぶ 松本 ☎ 0795-82-0038
16 訓谷オープンガーデン	香美町 香住区訓谷	4月21日(土)、22日(日) 9時～17時	訓谷オープンガーデンの会 太田 ☎ 0796-38-0020
17 とよおかオープンガーデン	豊岡市 日高町 豊岡市 (日高町以外)	6月上旬 詳細はブログ「但馬のイチロー」 で検索して下さい。	とよおかオープンガーデン 実行委員会 北井 進 ☎ 090-4569-9573
18 あわじオープンガーデン	淡路島内	4月21日(土)、22日(日) 5月19日(土)、20日(日) 各庭主さんにより実施日が違います ので、お問い合わせ下さい。	あわじオープンガーデン 実行委員会 向井 ☎ 0799-74-5286

2012年 オープンガーデンマップ

花との出会い、人との出会いを探しに、今年も出かけましょう。
春があなたを待っています。♪♪

▲たつの市

▲朝来市

▲宝塚市

▲洲本市

平成23年度

花緑いっぱい運動推進

ひょうごガーデンマイスターの協力を得て、県下6箇所で開催されました。

東播磨地域



開催日：平成23年4月21日(木)
場 所：日岡山公園(加古川市)
テーマ：今すぐ役立つ花壇リニューアル!!
参加者：35名
講 師：北川 由美子
内 容：午前中は講師から植栽についての説明を受け、その後、4つのグループに分かれて10.5m×3.5mのフロントガーデンの植栽計画を検討しました。日当たりや植物の高さを考慮しながら図面を作成し、午後から植え込み、夏に向け涼しげな花壇ができました。



神戸・阪神南地域



開催日：平成23年5月14日(土)
場 所：上坂部西公園
(尼崎市都市緑化植物園)
テーマ：カーペットプランツとハーモニーガーデン
参加者：30名
講 師：加賀 文代
内 容：午前中は花壇づくりの基礎と植栽のアドバイスをいただき、その後5グループに分かれて花壇設計を行いました。午後からは講師に手直ししていただいた図面を基に、花壇づくりを行い植え込みました。ラベンダーを花壇の周囲にあしらったハーモニーガーデンが出来上がりました。



中・西播磨地域



開催日：平成23年10月28日(金)
場 所：播磨科学公園都市芝生広場
テーマ：イベント向けテンポラリーガーデンの設置
参加者：19名
講 師：稲澤 範治
内 容：イベント等の開催時に会場を装飾するために、仮設の庭を作る手順や方法を学びました。午前中は説明を聞き、午後から植え込みました。強い日差しが注ぐ中、重厚な能舞台前面に樹木と季節の鉢花をふんだんに植え込み、仮設とは思えない豪華な庭園が出来上がり、舞台を引き立てていました。



員研修会及びワークショップ報告

阪神北地域



開催日：平成23年10月29日(土)

場 所：伊丹市立昆陽里小学校

テーマ：親子で花壇づくり

参加者：80名

講 師：辻井 玲子

内 容：午前中は、5つの花壇を見学し、花苗の紹介と説明を受け、児童を含めた5班に分かれて、植栽計画をしました。その後、プレゼンテーションを行い、講師のアドバイスを受けて、植栽計画を完成させました。午後からは、各花壇の土壌改良を行った後、花苗を植え付けました。特に、児童が虹をイメージしてデザインした花壇は、子どもらしくとてもかわいい花壇になりました。



但馬地域



開催日：平成23年11月6日(日)

場 所：豊岡市立西気小学校
神鍋道路緑地帯

テーマ：寒さに負けない花壇作り

参加者：36名

講 師：稲澤 範治

内 容：植栽する植物の詳しい説明を受け、3班に分かれて植栽計画を検討しました。その後、県道豊岡日高線の幅1.1m、長さ約3mの3か所の緑地帯の植栽を行いました。冷たい雨が降り続く中での作業だったので、完成時の子どもたちの歓声が心に響きました。



淡路地域



開催日：平成24年3月14日(水)

場 所：平林公会堂(淡路市)

テーマ：作業が楽しくなる管理しやすい
花壇へリニューアル！

参加者：23名

講 師：上田 治子

内 容：参加者の皆さんでデザインを考えた後、実際に植え込みました。場所は設置されて10年以上たつバス停横のスペース。植物が伸び放題になって見苦しくなっていた花壇の樹木を整理し、花苗を植え、すっきりとしたメリハリのある花壇にリニューアルしました。



グリーンメッセージ

くつの記憶

～神戸ビエンナーレ2011まちなかグリーンアートでの取り組み～

花と緑のまちづくりセンター長
(神戸ビエンナーレ2011エクゼクティブディレクター)
(NPO法人JHS(ジャパンハーブソサエティ)理事長)
石原 憲一郎

神戸ビエンナーレは、ミナト神戸を舞台に様々なアートを展開する、2年に1度の祭典です。3回目となる2011年は、「きら kira」をテーマに、10月1日から約2ヶ月間開催されました。年々内容も充実し入場者数も増加の一途です。

独自のアート分野として前回から始めた「まちなかグリーンアート」では、子ども達とともに、使い古して履かなくなった思い出の「くつ」にハーブを植え込んだ「ハーブぐつ」を、神戸三宮の中心地であるさんきたアモーレ広場と県立美術館広場に展示し、大きな話題を呼びました。小さな植物が、赤や青の子ども用の可愛いくつになんと似合うことか！そのファッショナブルな光景は新鮮な驚きでした。

神戸市内の幼稚園を中心に10園の幼稚園・保育所において、園児、先生、保護者の参加の下、兵庫県立大大学院生や神戸芸工大生のお兄さんやお姉さんの指導と説明を聞き、ワークショップ形式で作業を行いました。くつは各自持参してもらいました。それには子どもや家族が過ごした思い出がぎっしり詰まっています。

ハーブは、香りや肌触りなど子ども達の五感を刺激すること、さらに展示後子ども達に返したあと、その植物を「見る」だけでなく、ハーブティーや料理に「使う」ことまで体験できます。植物の持つ力を感じ、「食育」にもつながればと考えました。



さんきたアモーレ広場を彩るハーブぐつ

子ども達は、通常の花壇材料の草花への反応と異なり、個性的なハーブを手にして、作業中に香りをかいたり、味わったりして大はしゃぎでした。先生や保護者にお聞きすると、子ども達の植物に対する関心が大変高まったと驚いたそうです。ただ、用意されたハーブの中でパセリは敬遠されました。現在の食卓やレストランでのパセリの置かれている状況が映し出されていて、思わず苦笑いしてしまいました。

展示を終えた「ハーブぐつ」は、楽しい思い出を詰めて新たな「いのち」を与えてくれた子ども達の元へ戻り、家族団らんに大きく貢献していることと思います。

今後、子ども達がもっと身近にハーブに触れることによって、五感を刺激し、より感性豊かな人間に育つこのような機会づくりに、県下の花と緑のまちづくり活動団体も取り組まれてはいかがですか？

使用したハーブ

オレガノ、ベルガモット、ローマンカモミール、ダイヤーズカモミール、スペアミント、パイナップルミント、日本ハッカ、パセリ、パイナップルセージ、タイム、グロソラベンダー、クレソン、ステビア、レモンバーム、ワイルドストロベリー、ルッコラの16種類



神戸市立櫛谷幼稚園でのワークショップ風景

ほっと

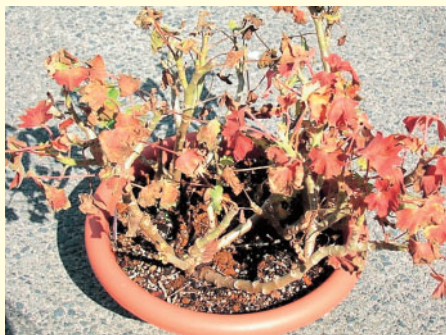
●●● 相談員ニュース ●●●

緑の相談員 松浪 栄一・若松 康史

ゼラニウムの切り戻し・植え替え

今年の冬は例年になく厳しく、南向きの軒下などのように屋外の霜の当たらない場所で冬越しをさせたゼラニウムも、寒さで葉や茎が傷んでいる場合が多いかと思えます。しかし、傷んでいるのは葉や茎の先端部であることが多く、春になって暖かくなると、葉の落ちた茎の節からも新芽が出てきます。ただ、新芽が茎の先端に近い程生長が旺盛で、上にどんどん伸びていくので、そのままにしておくと下のほうに葉が無くなり、間延びした姿になってしまいます。花が咲いた時の姿を美しくするためにも、新芽が伸び始めるこの時期に切り戻しを行いましょう。茎にある節をよく観察してみると、新しい芽が吹き始めています。切り戻しの際は、芽吹いた節の上で切り戻せば問題ありませんが、なるべく株もとに近い位置で、株の外方向に伸びる芽を残して切ると、株の姿が整います。

また、ゼラニウムは根の生長が比較的ゆっくりなので、毎年植え替えを行う必要はありませんが、切り戻しと同時に新しい土に植え替えておくとその後の生育も良くなるので、2年に一回を目安に、この時期に植え替えを行うようにして下さい。ゼラニウムは水はけの良い土を好むので、中粒の赤玉土のようなやや粒が大きいめの用土を選ぶと良いでしょう。



▲このように葉が傷んでいても、茎が硬くつやつやしていれば、春に新芽が出てくる。



▲株もと近くに発生している新芽の位置で切り戻す。切った茎は室内の暖かい場所で挿し芽にチャレンジ！

鉢替えの基本とタイミング

鉢は適切なサイズのものを選び、成長度合いに合わせて鉢替えが必要です。ではどんなタイミングで鉢替えや株分けをしたら良いでしょう。

植え替えの目安は、

- ①鉢の底から根がはみ出している時
- ②水やりしても鉢の中に水が吸収されなくなった時
- ③水切れしたわけでもないのに、急に下葉が落ちたり、葉が黄変した時、などです。

鉢替えはひとまわり大きな鉢にします。ひとまわりとは鉢の号数を1つ大きくする、4号鉢なら5号鉢に替えます。サイズが1号大きくなると直径が3cm大きくなります。

蕾や花がある時は植え替えを控えます。開花には多くのエネルギーが必要なため、この時期に植え替えると花や蕾が落ちてしまうことがあります。開花中のポット苗などやむを得ず植え替えをする場合は極力、根を痛めないように注意します。

<植物の大きさを保ち、鉢替えしたくない場合>



▲上記左写真のように鉢底から根がはみ出しても、鉢替えしたくない場合は、根を1/4ほど切り詰めて古い土を少し落とし、新しい土を加えて元の鉢に植えます。

園芸相談コーナー

10:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078 (918) 2405

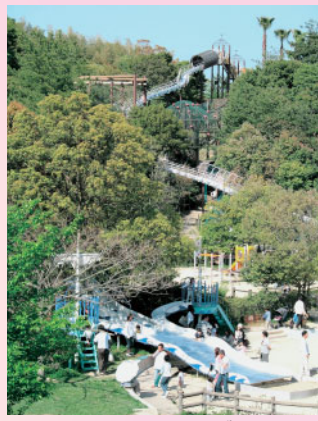
Fax 078 (919) 5186

写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

県下の公園紹介 第12回☆☆☆ 淡路島公園

淡路島公園は、明石海峡を望む淡路島の北端にある、134.8haの広大な都市公園です。4つのゾーンから成り立っており、利用者の様々な目的やニーズに応じた利用が出来ます。

- ハイウェイオアシスゾーン** 高速道淡路SAから直接車でアクセスでき、明石海峡を眺めながら、食事やショッピング、四季の花が咲く庭園「花の谷」の散策などが楽しめます。
- 森のゾーン** 森林浴ができる遊歩道があり、展望広場からは、明石海峡から大阪湾までの雄大なパノラマが望めます。4月には展望広場の桜が、6月には約1万株ある「アジサイの谷」のアジサイが色鮮やかに咲き誇ります。また秋には、もみじやアメリカフウなどの紅葉も楽しめます。
- 交流ゾーン** 大きな芝生広場、ローラースライダー、アスレチック遊具、水の遊び場、森の子ども広場があり、今年4月にはふわふわドームもオープンし、家族で楽しめるエリアです。
- 草原と花のゾーン** 公園全体や明石海峡を一望できる展望デッキがあります。また、春と秋の「淡路島公園を楽しもう祭り」、たけのご掘りやパラグライダーの体験教室、「探鳥会」などの自然観察会、環境体験プログラムなども行っています。詳細はHPをご覧ください。



ローラースライダー



アジサイの谷



水の遊び場



竹のクラフト教室

お問い合わせ 淡路島公園管理事務所 〒656-2301 淡路市岩屋楠本2425-2 TEL. 0799-72-5377

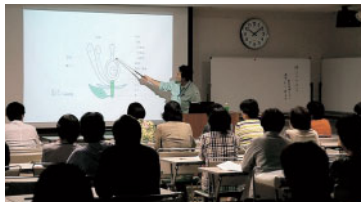
県下の相談所紹介 第4回☆☆☆ 姫路市緑の相談所

姫路市緑の相談所は、姫路市のほぼ中央、手柄山中央公園の山頂にあります。平成元年6月に、花と緑に充ち溢れる美しいまちづくりの拠点として開設されました。

花と緑に関する園芸相談業務をはじめ、園芸愛好家団体の皆さんとの共催で、年間約20回の展示会や講習会を開催しています。また園芸の知識と技術の習得を目的として、年間33回の園芸講座が開かれています。

周辺には、広大な手柄山中央公園の緑が広がり、色鮮やかな花々を楽しめるサンクガーデンなどの美しい花壇やバラ園、カスケードなどがあります。昨年には、旧姫路モノレール駅舎を改装した手柄山交流ステーションという新たな名所が誕生し、また姫路市立水族館がリニューアルされました。

姫路市内を一望できる素晴らしい眺望を見ることが出来る恵まれた場所にあって、訪れる皆さんの大切な憩いの場であるとともに、花と緑に親しむ拠点にふさわしい窓口として日々活発に活動しています。



▲園芸研修



▲講習会



▲サンクガーデン

お問い合わせ 姫路市緑の相談所 〒670-0971 姫路市西延末440
TEL:079-292-6887 FAX:079-298-5565 火曜休所、祝日の場合は翌水曜休所
相談時間/午前9時から午後4時30分(12時から1時までの休憩時間を除く) 開所時間/午前9時~午後5時
アクセス/山陽電車「手柄駅」下車 徒歩約10分 神姫バス「姫路市文化センター前」下車 徒歩約15分

花と緑のまちづくりセンターだより 20号

- 平成24年3月31日(年4回発行)
- 編集発行 財団法人 兵庫県園芸・公園協会理事兼花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com